

# SAF JAPAN NEWSLETTER



THE STUDY ABROAD FOUNDATION  
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

2015 Summer Edition

<http://japan.studyabroadfoundation.org>

## NAFSA並びに高等教育における国際教育への貢献

The Study Abroad Foundation (以後、省略してSAF)は、国際教育関係者のための団体である"NAFSA"の年次総会を通して、日本を含むアジアの大学が、各々の国際化戦略にインパクトを与えることができるようにサポートしています。今年もNAFSA Japan SIG (NAFSAの分科会)からの要請を受け、Japan SIGが主催する2つのイベントで、国際教育で長年の経験を持つSAFプレジデントProf. John Belcherが講演を行いました。

2015年3月27日に東京で開催されたNAFSA Japan SIG主催のNAFSAジャパン・グローバル・シンポジウムでは、NAFSAの会長Dr. Fanta Awをはじめ国際教育において第一線で活躍する方々をゲストに迎え、NAFSA年次総会を最大限に活用するためのノウハウを提供することを目的として複数のレクチャーとワークショップが行われました。Belcherは"Introduction to NAFSA and Maximizing Your Time at the Annual Conference"のレクチャーを担当し、NAFSAの総会に参加する前に考えるべき項目について整理しながら、投入できる予算や人材などのリソース、地域間の需要と供給のアンバランスから生じる交換学生交流の難しさなどを考慮に入れ、幾つもあるパートナーシップの形からそれぞれに適した形を選んでいく戦略的プランニングが重要になることをお話しました。

また、5月のNAFSA年次総会中に実施されたJapan SIGのセッションでは、従来の2大学間の協定に基づく交換留学や短期の留学プログラムを補完する位置づけで、第三者機関が

提供する多国間の大学ネットワークを活用した留学促進方法を取り入れることを提言しました。幅広い選択肢や充実した留学アドバイザーを学生に提供できるという利点に加え、留学促進に伴い本来大学の負担が増す人件費などのコストを抑えることができるという点から、米国の大学では広く受け入れられているようです。米国では既に複数のNPOが大学ネットワークを構築し、SAFの母体であるIFSA-Butlerも毎年約3,000人の北米の学生を北米圏外に派遣しています。米国の高等教育機関における国際教育の現場においては、大学が持つ倫理感と共有可能な考え方に基いて活動が行われていることや、株主への配当がなく、かつ納税が原則免除されることにより学生が負担する費用を低く抑えることができることから、米国のNPOと協働することの利点が認知されているようです。

大学ネットワークを活用した留学促進は日



SAFプレジデント Prof. John Belcher  
(NAFSAジャパン・グローバル・シンポジウムに於いて)

本では新しい考え方ですが、SAFの大学ネットワークに加盟する日本の大学は18大学となり、2000年の設立以来、2015年秋までの派遣者数は3,090人以上になる見込みで、毎年派遣人数は増えています。今後もSAF大学ネットワークの加盟大学および各国の関連機関とより強固な関係を築きながら、アジアにおける学生モビリティ促進に貢献してまいります。



Dr. Fanta Aw (アメリカン大学副学長補佐/現NAFSA会長)より

NAFSA: Association of International Education was pleased to see the increasing presence of Japanese universities at the 2015 NAFSA conference in Boston, Massachusetts. A real testament to the commitment of Japanese universities to engage the world. NAFSA looks forward to working closely with Japanese universities as they continue to advance internationalization efforts.

As President and Chair of the Board of Directors of NAFSA, in March of 2015, I had the distinct pleasure to attend and present at the NAFSA Japan SIG day long symposium in Tokyo focused on strengthening institutional partnerships. This provided NAFSA an opportunity to raise awareness of the range of programs and services provided. We deeply appreciate SAF's support of the symposium and its long standing contribution to the field of international education and to NAFSA.

### SAF大学ネットワーク (ホスト大学)

SAFの多国間大学ネットワークを活用して、アジアの加盟大学は以下の名門大学へ学生を派遣することができます。SAFの学生の多くは留学先大学の単位を取得し、在籍大学に認定してもらうことで、SAFでの留学期間も含めて4年間で大学を卒業しています。

アメリカ	カナダ	イギリス	アイルランド	ドイツ
アーカンソー大学	バンダービルト大学	ウェストミンスター大学	アイルランド国立大学	ライプツィヒ大学
アメリカン大学	ペンシルバニア大学	エジンバラ大学	ダブリン校*	スペイン: レオン大学
アラバマ大学	ミシガン州立大学	マンチェスター大学	リムリック大学	*語学強化プログラムのみの提供となります。
アリゾナ州立大学	ミシシッピ大学	セント・アンズ・カレッジ	オーストラリア	アカデミック・インターンシップ
アリゾナ大学	ミネソタ大学	グラスゴー大学	ウーロンゴン大学	(学部授業+インターンシップ)
カリフォルニア州立大学	モンタナ州立大学	プリストル大学	クイーンズランド大学	提供機関
サンマルコス校	ユタ大学	マンチェスター大学	ニューサウスウェールズ大学	アメリカン大学
カリフォルニア大学	ワシントン大学*	ロンドン芸術大学	ニュージーランド	ワシントン・セメスター・プログラム
サンタバーバラ校	カナダ	ロンドン大学	オタゴ大学	ミシガン州立大学
カリフォルニア大学	カルガリー大学*	クイーン・メアリー校	ヨーロッパ言語	アメリカン・セメスター・
パークレー校	トロント大学*	ユニバーシティ・カレッジ・	フランス: アンジェ・	インターンシップ・プログラム
エクステンション	ビクトリア大学	ロンドン	カトリック大学*	FIE ロンドン・インターンシップ・プログラム
カリフォルニア大学			スイス: ローザンヌ大学	
リバーサイド校				

## 日本大学の認定留学制度とSAFとの連携について



日本大学 学務部  
学務課国際交流室  
特任課長 並木洋明 様

日本大学は、14学部、20大学院、短大、付属機関、研究所を有する日本最大規模の総合大学ですが、それぞれ異なるキャンパスを持ち、独立して運営していることから、これまで特に学事事項にかかる全学的な取組みを図る土壌は必ずしも十分なものではありませんでした。しかしながら、昨今の政府の成長戦略、大学に対するグローバル改革や時代の変化に適應できる人材の輩出などの社会的な要請に基づき、昨年7月に本学の今後の国際交流方針を定め、その一環として、本学学生の海外留学促進を

図ることになりました。

従前の留学制度では、短期のほか、1年間の交換留学や派遣留学が存在していたものの、これらの留学には、派遣人数に制限があったため、希望をかなえることができない学生が多く見られました。このため、派遣人数に制限がなく、希望者に幅広く留学できる仕組みを新設したいといった観点から、認定留学制度の導入に至りました。検討にあたっては、単なる制度の導入だけでは成果が乏しいと考え、その豊富な経験や確かな安全管理体制を持つSAFと提携し、円滑な実施を目指しました。

なお、本制度の特徴として、本学では海外留学での経験が、コミュニケーション力、創造性、異なる環境への適応力、判断力などの向上をもたらすなど、今後の人格形成に資するもので

あり、また本学の自主創造の教育理念にも合致することから、正規課程のほか、大学付属の語学留学についても、留学として認めることになりました。これにより、修業年限内での留学に道を拓くことになります。また単位認定の取扱いも部科校によって対応は異なるものの、大学全体として、柔軟に運用していく方針を確認しました。

SAFに期待することは、本学の認定留学における動力としての役割です。今後は、SAFの持つ豊富な知見やリソースをベースに、学部間を越えた留学の連携や新たな留学の開発を図っていきたく考えています。国際交流を通して、教育の質的向上の一翼を担うべく、今後さらにSAFとの連携を強化していきたいと思っています。

## SD開催：留学アドバイジング力を高めるワークショップ

お茶の水女子大学グローバル人材育成推進センター 特任講師の渡辺紀子先生をお招きし、「留学アドバイジング力を高めるワークショップ」を、2015年6月30日にSAF日本事務局にて実施しました。

お茶の水女子大学およびSAFのスタッフ15名で臨んだ本ワークショップでは、アドバイザーに求められるスキルやケース別の学生対応方法について渡辺先生から解説を受けた上で、3名1組で、順番にアドバイザー、学生、オブザーバー役を演じるロールプレイに挑戦しました。アドバイジングにおいて重要なスキルである「傾聴」を意識してロールプレイに臨み、同じ

組内でフィードバックし合ったことにより、自分の傾向や癖を認識することができ、よりよいアドバイジングの方法を模索していきつかけとなったようです。



「留学アドバイジング力を高めるワークショップ」の様子

SAFでは留学アドバイジングを通して学生を成長させることを目標にしています。今後もメンバー大学と協力をしながら、アドバイジングに必要なスキル向上を図っていきます。

### 渡辺紀子講師(本ワークショップ講師)のプロフィール

米国カンザス州エンボリア州立大学で産業組織心理学修士号取得。カンザス州立大学大学院職業健康心理学専攻修了。米国現地留学機関にて留学兼キャリアアドバイザーおよび教育講師を務める。帰国してからは、高等教育の国際化推進に従事。専門はグローバル人材・リーダーシップ育成、潜在能力開発。

## TOMODACHI住友商事奨学金プログラム 帰国報告会を実施

2015年6月12日に、SAFがプログラム実施パートナーを務めるTOMODACHI住友商事奨学金プログラム(※)の1期生による帰国報告会を開催しました。1期生は交換留学および本プログラムを通して得た成果について10分程度で英語による

※(公財)米日カウンシル-ジャパンとアメリカ大使館東京が主導するTOMODACHIイニシアチブが実施する教育プログラム。指定する大学の交換留学生として米国の大学で学ぶ学部生を対象。

プレゼンを行った後、プログラム実施機関であるアメリカ大使館東京の公使並びに米日カウンシルの理事、そしてスポンサー企業の住友商事(株)の役員より、コメントをいただく機会を得ました。2015年秋から交換留学を控えている2期生は先輩のブ

レゼンを通して1年後の自分の姿をイメージしつつ、報告会後の懇親会では米日の第一線で長年活躍する方々より、留学や今後のキャリアに関して様々なアドバイスをもらったようです。

## 米国非営利教育財団 SAFスタディ・アブロード・ファウンデーション 概要

【設立年】2000年

【設立趣意】留学を通して国際社会への関心を深め、国際社会や自国で活躍する際に必要な異文化理解力を高めていく機会をアジアの大学生に広く提供していくために設立。

【活動概要】

●SAF 多国間大学ネットワーク (International University Network) を組織し、日本、中国、台湾、

韓国、ブルネイ、マレーシア、カザフスタンを中心としたアジアの学生モビリティ促進のために活動。

- 北米、ヨーロッパ、オセアニアのSAFメンバー大学の協力の下、交換協定に基づかない学生派遣プログラム (Visiting Student Program) を推進。SAFの大学ネットワークに加盟するアジアの大学における単位取得を伴う派遣留学層の拡大をサポート。
- 2000年の設立以降、5,900人以上のアジアの大学生を欧米やオセアニア圏の大学へ派遣。

【提供プログラム】

期間	1学期、1年間、サマーセッション(6月~8月/8月~9月)
種類	学部授業履修、語学力強化+学部授業履修(ブリッジ・プログラム)、語学力強化、アカデミック・インターンシップ(学部授業+インターンシップ)

※上記に加え、大学または学部ごとに留学プログラムをカスタマイズすることも可能。(実施例：慶應義塾大学理工学部、立教大学異文化コミュニケーション学部)

## 中国における留学促進とサマーセッション短期留学

SAFの多国間大学ネットワークに加盟するアジアの大学からの2015年までの派遣者数が、5,900人を超えました。特筆すべきことは、中国からの派遣者数が過去2年間で3倍となったことです。1学期・1年間の留学プログラム参加者に限定した中国の伸び率は169%にとどまりますが、サマーセッションのみ留学した学生が全体の派遣者数を押し上げました。

短期間の留学であっても現地の学生と一緒に学部の授業を履修できる機会を提供するため、SAFでは2012年に、主に米国と英国の大学の夏休み期間に実施されている学部授業に参加をする「サマーセッション短期留学(6~8月/8~9月)」を立ち上げました。欧米圏と同じ学事歴となっている中国では、これにより一気に留学の層が広がったようです。

日本でもスーパーグローバル大学創成支援事業に採択された大学を中心とし、学事歴を

変更することで6~8月の期間に留学できる環境を整える方針が打ち出されています。実際に日本のSAFメンバー大学においてもサマーセッション短期留学への派遣を既にスタートさせ、6~8月の期間のみ海外の大学で学ばせ、取得した単位を在籍大学にて認定するケースが少しずつ出てきています。学事歴が欧米と異なることから、日本では当面、従来の夏休み期間(8~9月)のみで参加できる大学への派遣が中心になることが予想されますが、「サマーセッション短期留学プログラム」が日本の留学促進の起爆剤になるよう願っています。

## 新ブルネイオフィスのAlzbeta Findalyより



日本、韓国、中国(北京、上海、広州)、台湾に続く、アジア7つ目の事務局オフィスを、ブルネイに開設しました。

## SAF全体の派遣者数

年	日本	韓国	中国	台湾	カザフスタン	ブルネイ	その他	合計
2007	105	36	0	0	0	0	0	141
2008	329	120	7	26	0	0	0	482
2009	404	113	29	5	0	0	0	551
2010	508	122	101	6	0	0	0	737
2011	372	147	101	19	0	0	0	639
2012	310	143	172	13	0	0	0	638
2013	378	128	207	12	0	16	8	749
2014	328	101	413	2	0	31	9	884
2015	359	83	619	2	29	10	18	1120
合計	3093	993	1649	85	29	57	35	5941

## 研究留学プログラムの開発

SAFでは、SAF大学ネットワークに加盟するアジアの大学、特に中国からの要望を受け、大学卒業後に理工系の大学院へ進学を考えている学部生を対象にした研究留学プログラム(Undergraduate Research Abroad Program)の開発をトップレベルの欧米の大学と行っています。本プログラムは、教官による指導を受けながら取り組む研究と研究者として必要なスキルを身につけるためのセミナーから構成されており、留学先大学から学部レベルの単位が付与されます。

本プログラムの重要な要素である研究については、研究トピックの分野が可能な限り近い教官による指導が受けられるようにマッチングが行われ、指導教官が行っている研究プロジェクトに参加するか、指導教官と興味が一致する場合は新たな研究プロジェクトと一緒に立ち上げます。またセミナーは、リサーチ・メソッドロジー、論文執筆、プレゼンテーションスキル等の研究者に求められるス

キルを習得し、大学院での研究活動で成功を収めるための戦略や研究者としてのキャリアに対する理解を深める機会となります。場合によっては、研究活動を行っている大学院生との交流、GREなど主に北米の大学院進学の際に必要なテスト対策、文化体験などを織り込むことも可能です。

今年、第一弾となる本プログラムが米国のJohns Hopkins Universityにて実施され、来年度以降も少しずつ留学先大学を増やしていく予定です。既存プログラムの期間は、6~8月の8週間または1学期間となりますが、8~9月の6週間程度で学生派遣を希望する大学があれば、既存プログラムをカスタマイズして実施することを検討しています。

SAFでは本プログラムに限らず、既存プログラムを通しての派遣が難しい場合は、ニーズに適したカスタマイズ・プログラムの開発を積極的に行うことで、各地域のニーズに添えていくことを目指しています。

## SAF 大学ネットワーク(派遣元大学)

<b>日本</b>	沖繩国際大学	信州大学
亜細亜大学	お茶の水女子大学	京都外国語大学
東洋大学	関西学院大学国際学部	昭和女子大学
南山大学	日本大学	日本女子大学
同志社大学	中央大学	明治大学
慶應義塾大学	東京理科大学	立教大学
駒澤大学		

<b>韓国</b>	Catholic University of Korea
Chonnam National University	Chung-Ang University
Chungbuk National University	Dankook University
Hankuk University of Foreign Studies	Hanyang University
Hongik University	Incheon National University
Inha University	Kangwon National University
Kongju National University	Kookmin University
Korea University	Kyungpook National University
Myongji University	Pohang University of Science and Technology
Pusan National University	Seoul National University
Seoul Women's University	Sogang University
Sookmyung Women's University	Soongsil University
Sungkyunkwan University	University of Seoul
Yonsei University	

<b>中国</b>	Beijing Forestry University
Beijing Institute of Technology	Beijing International Education Exchange Center
Beijing Jiaotong University	Beijing Normal University
Beijing University of Chemical Technology	Beijing University of Posts & Telecommunications
Capital Normal University	Central China Normal University
Central University of Finance & Economics	China Pharmaceutical University
China University of Mining & Technology	China University of Mining & Technology, Beijing
China University of Petroleum	China University of Political Science & Law
Chongqing University	Communications University of China
Dalian Maritime University	Dalian University of Technology
Dongbei University of Finance & Economics	Donghua University
East China Normal University	East China University of Political Science & Law
East China University of Science & Technology	Fujian Normal University
Fuzhou University	Guangdong University of Foreign Studies
Hainan University	Hebei University of Technology
Huazhong University of Science & Technology	Hunan University
Jinan University	Lanzhou University
Nanchang Hangkong University	Nanjing University of Aeronautics & Astronautics
Nanjing University of Science & Technology	Nankai University
North China Electric Power University	Northeast Normal University
Northwestern Polytechnical University	Northeastern University
Northwestern Polytechnical University	Ocean University of China
Office of Pilot Software Engineering Schools (MOE)	Shaanxi Normal University
Shandong University	Shanghai Finance University
Shanghai Jiaotong University	Shanghai Maritime University
Shanghai Normal University	Shanghai University of Int'l Business & Economics
Soochow University	South China University of Technology
Southeast University	Southwest University
Southwestern University of Finance & Economics	Taiyuan University of Technology
Tianjin University	Tongji University
University of Electrical Science & Technology of China	University of International Business & Economics
University of Science & Technology Beijing	Xiamen University
Xi'an Jiaotong University	Xi'an Jiaotong-Liverpool University
Zhongnan University of Economics & Law	

<b>台湾</b>	Feng Chia University
National Chiao Tung University	National Chung Cheng University
National Taiwan Normal University	National Taiwan University
National Tsing Hua University	National Yang Ming University
Tunghai University	Yuan Ze University

<b>マレーシア</b>	University of Nottingham - Malaysia
--------------	-------------------------------------

<b>ブルネイ</b>	Universiti Brunei Darussalam
-------------	------------------------------

<b>カザフスタン</b>	Almaty Management University
International Academy of Business (IAB)	KIMEP: The Kazakhstan Institute of Management, Economics and Strategic Research
Nazarbayev University	

(2015年7月現在)

SAF大学ネットワークに加盟した新ホスト大学のご紹介

新たにオレゴン大学、ネバダ大学リノ校、カリフォルニア州立大学サンマルコス校と協定を締結しました。2015年に派遣した学生のTOEFL iBTのスコアの内、最も比率が高かったのはTOEFL iBT 61-70の層であり、全体の33%を占めています。このレベルの学生に対

して学部の授業を履修できるチャンスを広げるために、TOEFL iBT 61点で学部の授業を履修することが可能な大学の中から経済的なプログラム費で留学でき、かつ質の良い教育を提供している州立大学を選定し、前述の3大学を新たに留学先として加えることになりました。

「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」希望者への対応

官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」に合格をし、SAF留学プログラムに参加する学生は、1期生2名、2期生3名、3期生3名で合計8名となりました。

合格者の内、3名は学部の授業を履修しながら、学部の授業のカリキュラムの一環としてインターンシップを行うアメリカン大学のアカデミック・インターンシップ・プログラム(Washington Semester Program)に参加をします。インターンシップ先の選定作業に学生が関わることで成長につながるという考えの下、大学が用意しているデータベースを活用して、学生自ら希望に合う企業や機関を探し出します。また大学のサポートを受けながら、学

生自身で履歴書を提出し、面接を受けた上で、インターン先が決定する流れとなっています。

学外での課外活動や自分自身で留学計画を立てることを重視する「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」の趣旨に合うことから、同奨学金プログラムを希望する学生からのインターンシップを含む留学(アカデミック・インターンシップ・プログラム)への問い合わせが増えています。この状況を受け、昨年ニューヨーク、サンフランシスコでインターンシップが可能な同タイプのプログラムを新たに開発し、現在同2都市に加え、ロンドン、ワシントンDCの4都市からインターンシップ先を選ぶことができるようになりました。

SAF留学プログラム参加学生からのメッセージ

University of California, Los Angeles (UCLA)  
(Summer 2014)

慶應義塾大学  
理工学部機械工学科 4年  
田中鴻輝 さん



California Science Centerのスペースシャトルをバックに撮影

私は大学入学以前から、海外、特にアメリカの大学院へ進学したいと考えておりましたが、それまでの人生で海外へ行ったことは旅行も含めて一度もありませんでした。そのため、自分が本当に海外で生活ができ、勉強の面でも通用するのかということを試してみたいと考えていました。しかし、交換留学などで留年をしてまで海外へ行くという決断はできていませんでした。サマーセッション短期留学では、学科のクォーター制を利用して進級に支障がなく留学ができ、さらに現地の学生と同内容の授業を履修することができると知り、自分に一番適した留学の形と思い、参加しました。

一番の気づきは、日米の授業形態の違いです。授業中に生徒が積極的に質問をする、ということについては渡米前の予想通りでしたが、授業の進め方それ自体が日本とは根本的に違いました。大量の宿題による反復練習と、オフィスアワーを設け生徒の理解を助けるシステムは大変に優れたものと感じました。また、自分の力が通用する

かという留学の目的と照らし合わせて考えると、十分に戦うことはできましたが、トップを取るためにはまだまだ努力が必要であると痛感させられました。授業の枠を超えた、突き抜けた才能をみせる学生との出会いは、自分が今後日本でどのように授業を受け、力をつけていくのかということについて深く考えさせられました。

留学を決断するまで非常に迷いました。一番の懸念事項は留学費用についてだったのですが、自分の留学をしてみたいという強い気持ちと天秤にかけた時に、それほど大きな問題とは思えなくなったのです。留学を終えた今、本当に行ってよかったと思っています。

SAF日本事務局 スタッフ紹介



SAF日本事務局  
ディレクター  
ブレット・ラミンジャー



大学担当  
留学プログラム開発・運営  
ディレクター  
須川 健太郎



大学担当  
留学プログラム開発  
マネージャー  
廣見 道子



プログラム運営・学生支援  
マネージャー  
児玉 有子



プログラム運営・学生支援  
マネージャー  
藤本 実千代



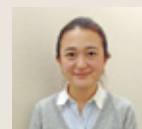
SAF 日本事務局  
プロジェクトマネージャー  
松田 晴子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
折目 真由実



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
渡辺 梨詠



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
渡辺 亜紀子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
ウエンゲル 和加子



プログラム運営・学生支援  
プログラムコーディネーター  
黒川あづみ



立教大学  
異文化コミュニケーション学部  
海外留学研修  
プログラムコーディネーター  
宮谷 萌



慶應義塾大学  
短期海外研修プログラム担当  
細井 美那



THE STUDY ABROAD FOUNDATION  
AN INTERNATIONAL UNIVERSITY NETWORK

米国非営利教育財団  
SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション日本事務局  
http://japan.studyabroadfoundation.org